



旭自治会 だより

令和6年3月1日 第73号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



3月事業年度の締めくくり

3月春の訪れといえどまだ三寒四温、冬の寒さも感じる季節、旭町の皆様には、日々如何お過ごしでしょうか。

各地で梅の花が咲き、日に日に春が温かさと共にやってくるという時期ですが、2月の半ばからは各地で梅の花が開花して、そして桜へと移る訳ですが、2月は異常な温かさと寒さの差が激しく、一部の地方では早々と梅の花が散り、梅林も閉鎖という便りがありました。このごろの天気の移り変わりは予想もできず、異常気象という言葉は好きではありませんが、やっぱりこの表現が相応しいのでしょうか。

旭町においても、例年は1月から2月に強い寒波が訪れ、去年は多くの積雪がありました、今年は一転して暖冬といえる2月でした。しかし月末になり戻り寒波といいたいでしょうか、冷たい雨が続きたりと、毎日のお天気の変わりように非常に心配をしていた中、実は、旭町では大きなイベントが控えておりました。

先日2月24日、「まほろば亀岡かわひがしウォークラリー」です、しかし連日の天候が一変して、当日だけ良いお天気に恵まれ、予定通り実施することができました、ご参加いただいた皆様、またご協力いただきました各団体のスタッフの皆様、大変ありがとうございました。今年は、旭町内の神社等を巡るコースを設定し、川東4町から総勢120名のご参加をいただき、まだ冬の寒さの厳しい中で町内を歩いていただきました。普段ですと歩いて町内を巡ることはまず無く、ましてや旭町外の方々にも歩いて旭町を知っていただく、大変貴重な体験を共にさせていただきました。約2時間で一万歩程あったようです。今回全員無事に完歩できました、皆様の御協力に感謝いたします。

また、昨年から実施しておりました「まほろば亀岡かわひがしフォトコンテスト」につきましても、先般新聞紙上にも掲載されましたが、これも多くの作品が寄せられ、2月25日に入選作の表彰を終え、亀岡市役所1階ロビーに展示をさせていただきました。いずれも力作で、川東地域を知っていただく大変良い機会となりました、ご協力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げます。

3月は年度の変わり目、川東学園では13日卒業式です、生徒たちが晴れやかに、それぞれの希望に満ちた進路へと旅立ちます。大きな夢実現のための一步を祝いたいものです。

旭町自治会におきましても、今年は委員の任期満了の年度です、町民の皆様にはこれかも自治会運営にご理解とご協力をお願いいたします。

旭町自治会長 吉川 肇



亀岡オーガニック農業スクール開校式・入学式

2月10日、有機農業者を育成するための「亀岡オーガニック農業スクール」の開校式・入学式が旭町コミュニティセンターで行われ、受講生30名が参加されました。



スクールでは、勘やコツ、経験だけに頼らないデータを活用した有機農業を1年間かけて学んでいかれるそうです。

亀岡市は昨年2月にオーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業を推進されています。この学びの場所として旭町が選ばれました。農業環境が良いという事だと思います。

この1年間受講生の皆さんご苦労様です。



「まほろば・亀岡かわひがし」旭町を巡る

ウォークラリー 開催

平成30年3月に、川東4町が「まほろば・亀岡かわひがし」の名称で「京都府景観資産」に登録されました。まず住んでいる



私たちが、地域の良さを
知ることが大切と考え「川東を巡るウォークラリー」が昨年に引き続き今年も旭町を巡るという事で、2月24日（土）開催されました。

旭町自治会をスタート、まつのおじんじゃ松尾神社、てんしょうこうだいじんじゃ天照皇太神社、うめだ梅田

じんじゃ神社、ぬかづかこふん糠塚古墳、旭町自治会という約4kmを歩きました。

小学生や多くの住民、役員の方々の参加で川東地区（旭町）を知る良い機会となりました。



お友達登録お願いします。

いろいろな方向から旭の魅力を知っていただくと思っていますので、皆さんお友達登録お願いします。QRコードをご利用ください。

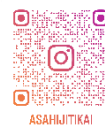
ホームページ・・・



LINE・・・



インスタグラム・・・



主な行事予定

令和6年	3月	9日（土）	エコグリーン配布	午前8時から
		11日（月）	旭町人権研修	午後7時30分から 旭コミュニティセンター
		31日（日）	特別感謝デー	なごみの里あさひ 午前9時から

一年を振り返って「旭サポートカー」

本年度から毎週運行を始めた「旭サポートカー」旭町の皆さんにとって、日常の不便を解消する手段として役立っているか、また介護認定前の予防（0次予防）につながっているか。振り返ってみました。



利用状況

回	回数	利用者数	回	回数	利用者数
4月	13回	29人	10月	21回	40人
5月	15回	35人	11月	21回	40人
6月	14回	29人	12月	19回	46人
7月	17回	32人	1月	22回	49人
8月	17回	33人	2月		
9月	16回	34人			

【平均】 …… 1日あたり 2.1台 1台あたり 2.1人乗車

少しずつではありますが、利用者が増えてきています。しかし、いくつかの課題も出てきました。

- *サポートカー事業についてまだ知らない方が多いようです。広報の工夫が必要です。
- *中には買い物だけだと思っている方が多いようです。日常の不便を解消するという観点から、通院・銀行・薬局などへの利用もできることを知らせる必要があります。
- *さらに、事業の充実を図るためには、運転手の確保も重要です。安全講習会の実施など、適切な対策を講じながら、運転手を増やすことが求められます。



一番の解決方法は、民生児童委員さんの協力を得ながら、利用者が「今度一緒に一回行ってみないか？」との誘いが一番参加しやすいと感じています。

4月から新たな利用者が増え、「楽しいな～」「明日はサポートカーの日だ！」と日常生活に張りを持ち、「今日はやることがある！」と元気を保ってほしいと思います。

今後も「旭サポートカー」は利用者の生活をサポートし、地域の健康づくりに貢献していけたらとの思いで取りくんでいきます。

